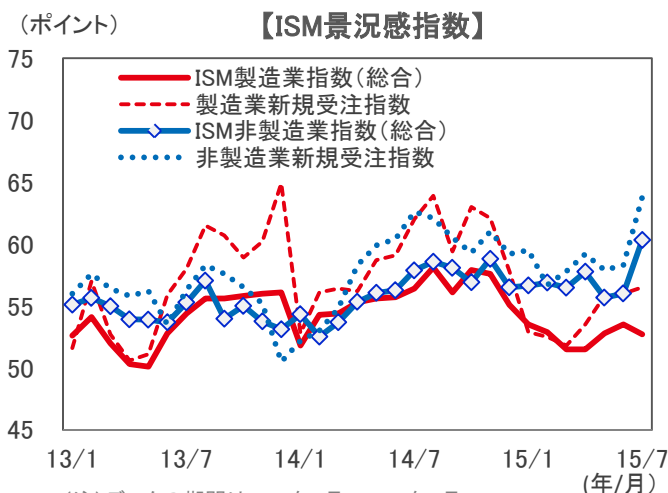


今日のトピック 米国のISM景況感指数(2015年7月) 製造業は小反落、非製造業は大幅続伸

ポイント1 製造業は2ヵ月振りの下落

在庫循環は上昇局面

- 7月のISM製造業景況感指数は、総合指数が52.7ポイントとなり、前月の53.5ポイントから0.8ポイントの低下となりました。ただ、総合指数を構成する5指標のうち、前月から下落したのは雇用、在庫の2指標にとどまり、需要の動向を示す新規受注、生産、入荷遅延の3指標は上昇しました。
- しかも新規受注指数と在庫指数の差は、6月の3.0ポイントから7.0ポイントに一段と拡大しました。在庫を上回るペースでの需要増が続いていること、つまり在庫循環の上昇局面にあることを示しています。



(注)データの期間は2013年1月～2015年7月。
(出所)Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

ポイント2 非製造業は大幅続伸

企業活動が力強く拡大

- 7月のISM非製造業景況感指数は、総合指数が60.3ポイントとなり、前月の56.0ポイントから4.3ポイント上昇しました。
- 内訳を見ると、事業活動、新規受注、入荷遅延、雇用の4指標が、揃って前月から上昇しました。売上高の動向を示唆する事業活動指数、新規受注指数は、ともに60を超える高い水準にあります。非製造業の活動は力強く拡大していると見られます。

【ISM景況感指数】

	製造業		非製造業	
	7月	前月比	7月	前月比
総合	52.7	▲0.8	60.3	+4.3
新規受注	56.5	+0.5	64.9	+3.4
生産	56.0	+2.0	63.8	+5.5
雇用	52.7	▲2.8	59.6	+6.9
入荷遅延	48.9	+0.1	53.0	+1.5
在庫	49.5	▲3.5	57.0	+2.0

(注)総合指数は、製造業が上記の5つの構成指数の平均、非製造業が上記のうち在庫指数を除く4つの構成指数の平均。
(出所)Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

今後の展開 米景気は順調に拡大、早ければ9月にも利上げの見通し

- ISMの製造業と非製造業指数を合成した指数は米国経済の活動状況を表していると考えられます。そこで総合指数を合成すると、7月は59.1となり、4-6月平均の55.9から上昇しました。過去の関係から判断すると、7-9月期の実質GDP成長率は、前期比年率3%超となる可能性があります。
- 米国では、生産増が雇用、所得、消費の拡大を通じて生産のさらなる増加を促すという好循環が働いています。年後半も順調な成長が予想され、早ければ9月にも利上げが実施される見通しです。ただし、物価が落ち着いていることなどから、利上げのペースは緩やかなものとなりそうです。

ここもチェック! 2015年07月31日 米国のGDP成長率(4-6月期速報値)
2015年07月30日 米金融政策は現状維持、利上げに向け一歩前進

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。